

平成22年度 第6回理事会

日 時 平成22年10月8日（金） 15：30～

場 所 特別会議室

報 告

1. 一般職員及び技術専門職員の人事評価の導入について
2. 独立行政法人森林総合研究所情報セキュリティポリシーについて
3. 「公開講演会＋オープンラボ」の開催について
4. 2011国際森林年への対応について
5. その他

資 料

- 1－1 一般職員及び技術専門職員の人事評価の導入について
- 2－1 独立行政法人森林総合研究所情報セキュリティポリシーについて
- 3－1 「公開講演会＋オープンラボ」の開催について
- 4－1 2011国際森林年について
- 5－1 主要行事（2010年9月3日～10月7日）

一般職員及び技術専門職員の人事評価の導入について

国の人事評価制度の動向、独立行政法人整理合理化計画（平成19年12月閣議決定）において人事評価の導入を求められた状況等を踏まえ、中期計画の「一般職員等については、組織の活性化と実績の向上を図る等の観点から、新たな評価制度の導入の検討する。」旨の記載に基づき2回の試行を実施し、本格実施に向けて検討を進めてきた。

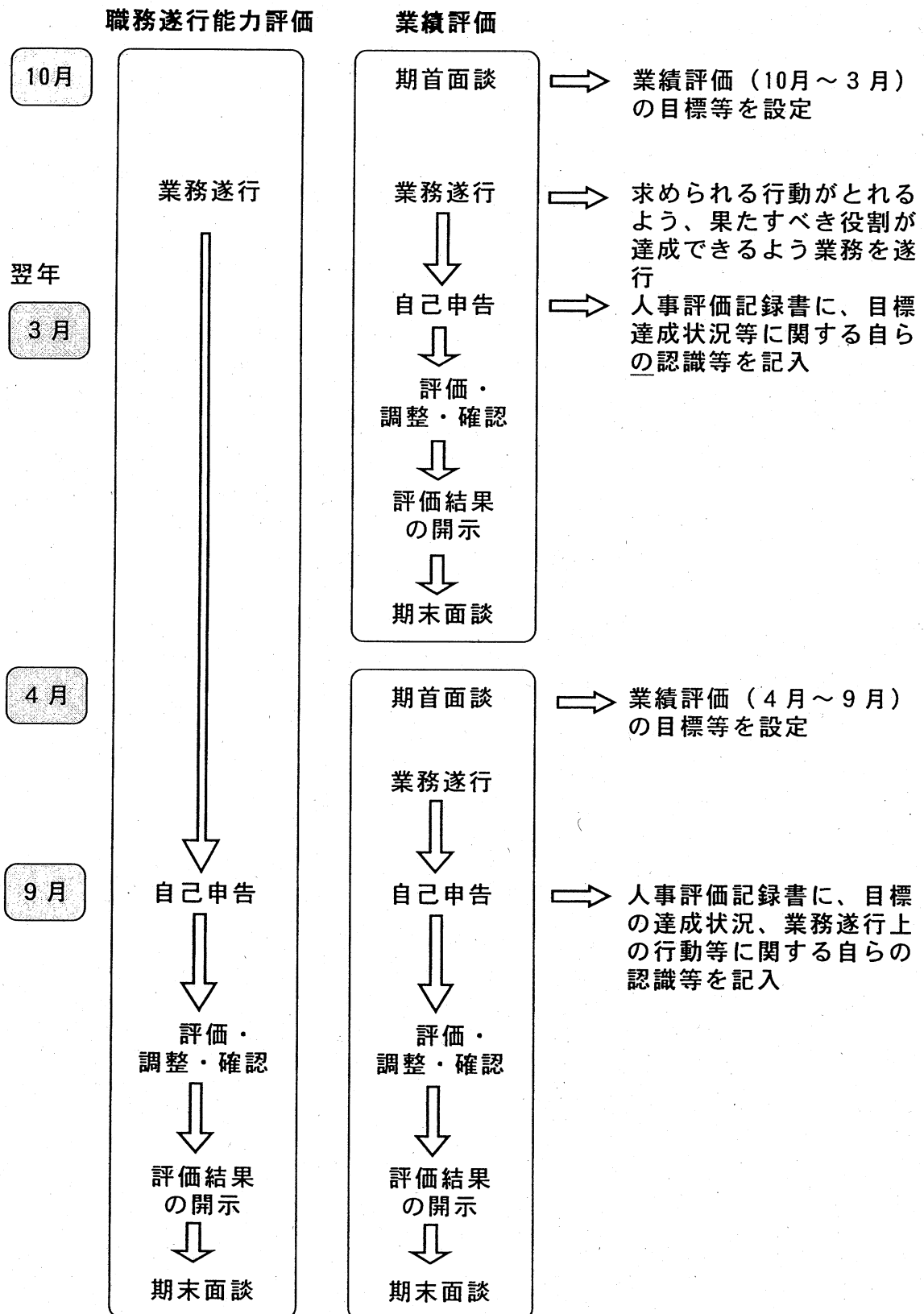
この度、平成22年10月1日から新たな人事評価制度の本格実施をスタートさせることとした。

改正規則等一覧

	番号	規則等名	備考
1	2 2 森林総研第 8 6 4 号	独立行政法人森林総合研究所採用昇任等基本方針について	
2	2 2 森林総研第 8 6 5 号	独立行政法人森林総合研究所職員就業規則	改正
3	2 2 森林総研第 8 6 6 号	独立行政法人森林総合研究所職員の任免に関する規程	改正
4	2 2 森林総研第 8 6 7 号	独立行政法人森林総合研究所一般職員等人事評価実施規程	
5	2 2 森林総研第 8 6 8 号	独立行政法人森林総合研究所一般職員等人事評価実施細則	
6	2 2 森林総研第 8 6 9 号	独立行政法人森林総合研究所の標準的な役職を定める規則	
7	2 2 森林総研第 8 7 0 号	独立行政法人森林総合研究所の標準職務遂行能力を定める規則	
8	2 2 森林総研第 8 7 1 号	独立行政法人森林総合研究所勤務評定実施規程	廃止
9	2 2 森林総研第 8 7 1 号	独立行政法人森林総合研究所勤務評定実施規程の運用について	廃止
10	2 2 森林総研第 8 7 2 号	独立行政法人森林総合研究所職員就業規則の取扱い	

第2部 具体的な評価手続

1. 人事評価の流れ



人事評価記録書

評価期間 平成 年 月 日～平成 年 月 日

期末面談 平成 年 月 日

被評価者 所属: 職名: 氏名:

評価者	所属・職名:	氏名:	記入日: 平成 年 月 日
調整者	所属・職名:	氏名:	記入日: 平成 年 月 日
実施権者	所属・職名:	氏名:	確認日: 平成 年 月 日

(I 職務遂行能力評価: 部長・審議役級)

評価項目 / 着眼点		自己申告 コメント	評価者 所見 (評語)	調整者
〈研究所職員としての姿勢〉 1 研究所職員としてふさわしい姿勢を保つ。				
① 倫理	高い倫理観を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。			
② コンプライアンス	法令や各種規程及び社会的ルールを遵守する。			
〈基本方針の提示〉 2 高い視点に立ち基本方針を示す。				
① 状況の構造的把握	複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。			
② 基本方針の明示	国家や国民の利益を第一に、国内外の情勢の変化を読み取り、組織としての基本的な方向性を示す。			
〈適時・適切な判断〉 3 明確な根拠を持ったタイミングの良い判断を下す。				
① 最適な選択	採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。			
② 適時の判断	事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。			
〈合意形成〉 4 組織方針について関係者と合意を形成する。				
① 信頼関係の構築	円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外的な信頼関係を構築する。			
② 折衝・調整	組織方針を実現できるよう関係者と折衝・調整を行う。			
〈責任ある業務遂行〉 5 部の責任者又は総務に関する統括整理をする者として職務を遂行する。				
① 責任感	自ら率いる組織の課題に責任を持って取り組む。			
② 先見性	先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながら物事を進める。			
③ リスク対応	状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。			
〈組織管理〉 6 業務遂行を管理し、的確な指示を行う。				
① 業務配分	課題の重要性や部下の役割・能力を踏まえて、組織の中で適切に業務を配分する。			
② 進捗管理	情報の共有や部下の仕事の進捗状況の把握を行い、業務を完遂に導く。			
③ 能力開発	部下の体調等に配慮するとともに、適切な指導を行い能力開発を促すなど、部下の力を引き出す。			

【全体評語等】

評価者	調整者
(所見)	(所見: 必要に応じ)
(全体評語)	(全体評語)

評価期間	平成	年	月	日	～平成	年	月	日
------	----	---	---	---	-----	---	---	---

期首面談	平成	年	月	日
期末面談	平成	年	月	日

被評価者	所属:	職名:	氏名:
------	-----	-----	-----

評価者	所属・職名:	氏名:	記入日: 平成	年	月	日
調整者	所属・職名:	氏名:	記入日: 平成	年	月	日
実施権者	所属・職名:	氏名:	確認日: 平成	年	月	日

(Ⅱ 業績評価:共通)

【1 目標】

番号	業 務 内 容	目 標 (いつまでに、何を、どの水準まで)	困 難	重 要	自 己 申 告 (達成状況、状況変化その他の特筆すべき事情)	評 価 者		調 整 者
						(所 見)	(評 語)	
1								
2								
3								
4								
5								

被評価者	所属:	職名:	氏名:
------	-----	-----	-----

【2 目標以外の業務の達成状況等】

番号	業務内容	自己申告 (目標以外の取組事項、突発事態への対応等)	評 価 者
			(所見)

【3 全体評語等】

評 価 者		調 整 者	
(所見)		(全体評語)	
		(所見:必要に応じ)	(全体評語)

独立行政法人森林総合研究所 情報セキュリティポリシー

平成22年 月 日

22森林総研第457号

目次

第1章 総則	- 6 -
(目的)	- 6 -
(基本方針)	- 6 -
(情報セキュリティ対策の適用範囲)	- 6 -
第2章 情報セキュリティ対策の管理体制	- 6 -
第1節 情報セキュリティ対策のための組織	- 6 -
(最高情報セキュリティ責任者)	- 6 -
(情報セキュリティ委員会)	- 7 -
(情報セキュリティ監査責任者)	- 7 -
(情報セキュリティ責任者)	- 7 -
(情報システムセキュリティ責任者)	- 7 -
(情報システムセキュリティ管理者)	- 8 -
(課室情報セキュリティ責任者)	- 8 -
(最高情報セキュリティアドバイザー)	- 8 -
(兼務を禁止する役割)	- 8 -
(上司による承認・許可)	- 8 -
第2節 違反と例外措置	- 9 -
(違反への対処)	- 9 -
(例外措置)	- 9 -
第3節 情報セキュリティ対策の教育	- 10 -
(情報セキュリティ対策の教育の実施)	- 10 -
(情報セキュリティ対策の教育の受講)	- 11 -
第4節 障害・事故等の対処	- 11 -
(障害・事故等の発生に備えた事前準備)	- 11 -
(障害・事故等の発生時における報告と応急措置)	- 12 -
(障害・事故等の原因調査と再発防止策)	- 12 -
第5節 情報セキュリティ対策の自己点検	- 12 -
(自己点検に関する年度計画の策定)	- 12 -

(自己点検の実施に関する準備)	- 12 -
(自己点検の実施)	- 12 -
(自己点検結果の評価)	- 13 -
(自己点検に基づく改善)	- 13 -
第6節 情報セキュリティ対策の監査	- 13 -
(監査計画の策定)	- 13 -
(監査の実施に関する指示)	- 13 -
(個別の監査業務における監査実施計画の策定)	- 13 -
(監査の実施に係る準備)	- 13 -
(監査の実施)	- 14 -
(監査結果に対する対処)	- 14 -
第7節 情報セキュリティ対策の見直し	- 14 -
(情報セキュリティ対策の見直し)	- 14 -
第8節 外部委託	- 15 -
(情報セキュリティ確保のための研究所内共通の仕組みの整備)	- 15 -
(委託先に実施させる情報セキュリティ対策の明確化)	- 15 -
(委託先の選定)	- 15 -
(外部委託に係る契約)	- 15 -
(外部委託の実施における手続)	- 16 -
(外部委託終了時の手続)	- 16 -
第3章 情報の取扱いに関するセキュリティ対策	- 17 -
第1節 情報の作成と入手	- 17 -
(業務以外の情報の作成又は入手の禁止)	- 17 -
(情報の作成又は入手時における格付けと取扱制限の決定)	- 17 -
(格付けと取扱制限の明示等)	- 18 -
(格付けと取扱制限の加工時における継承)	- 18 -
第2節 情報の利用	- 18 -
(業務以外の利用の禁止)	- 18 -
(格付け及び取扱制限に従った情報の取扱い)	- 18 -
(格付け及び取扱制限の複製時における継承)	- 18 -
(格付け及び取扱制限の見直し)	- 18 -
(要保護情報の取扱い)	- 19 -
第3節 情報の保存	- 19 -
(格付けに応じた情報の保存)	- 19 -
(情報の保存期間)	- 19 -
第4節 情報の移送	- 20 -

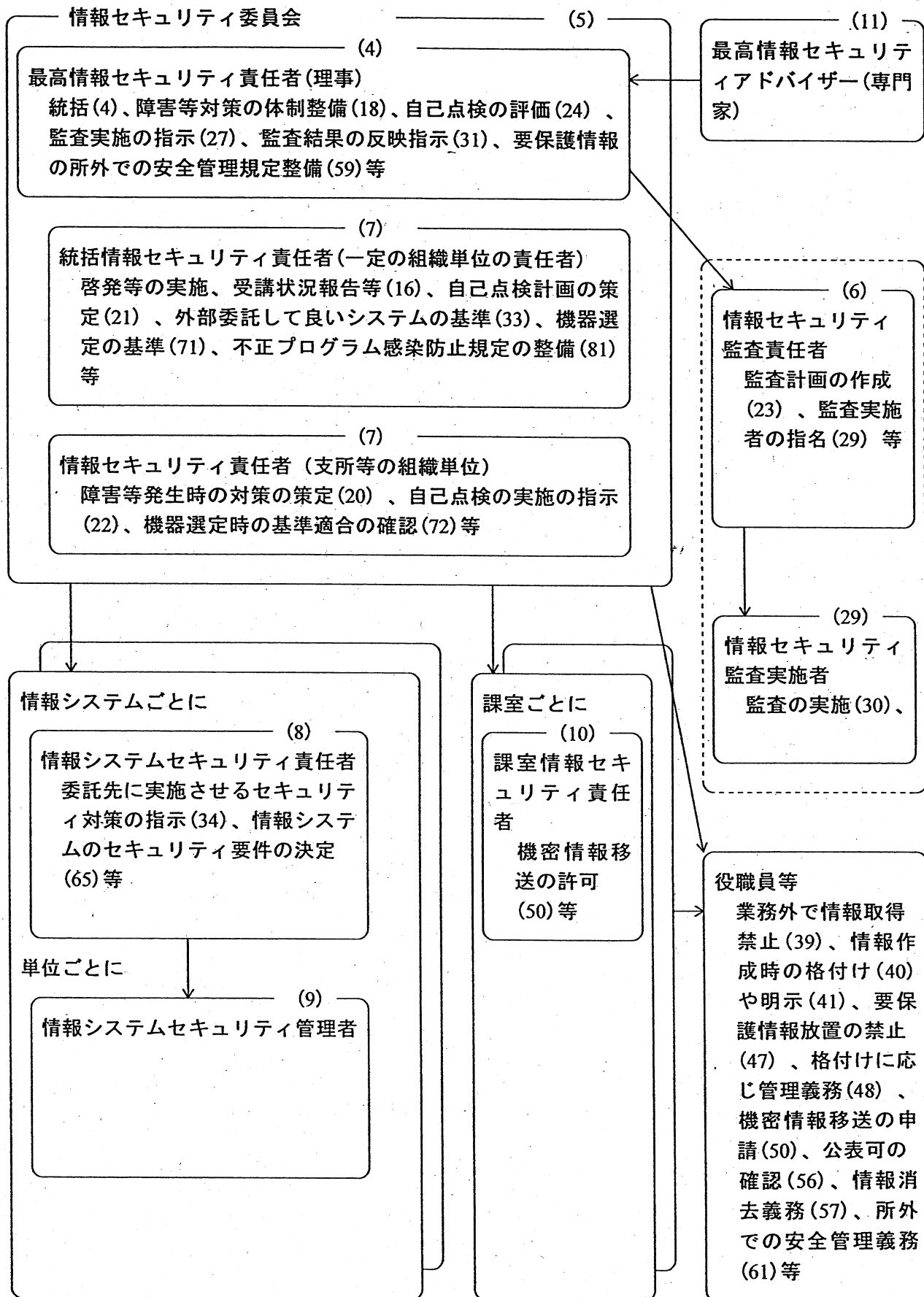
(情報の移送に関する許可及び届出)	- 20 -
(情報の送信と運搬の選択)	- 20 -
(移送手段の決定)	- 20 -
(書面の保護対策)	- 20 -
(電磁的記録の保護対策)	- 20 -
第5節 情報の提供	- 21 -
(情報の公表)	- 21 -
(他者への情報の提供)	- 21 -
第6節 情報の消去	- 21 -
(電磁的記録の消去方法)	- 21 -
(書面の廃棄方法)	- 22 -
第7節 研究所外での情報処理の制限	- 22 -
(安全管理措置についての規定の整備)	- 22 -
(許可及び届出の取得及び管理)	- 22 -
(安全管理措置の遵守)	- 23 -
第8節 研究所以外の情報システムによる情報処理の制限	- 24 -
(安全管理措置についての規定の整備)	- 24 -
(許可及び届出の取得及び管理)	- 24 -
(安全管理措置の遵守)	- 24 -
第4章 情報システムに関するセキュリティ対策	- 25 -
第1節 情報システムのセキュリティ要件	- 25 -
(情報システムの計画)	- 25 -
(情報システムの構築・運用)	- 25 -
(情報システムの移行・廃棄)	- 25 -
(情報システムの見直し)	- 26 -
第2節 情報システムに係る文書及び台帳整備	- 26 -
(情報システムの文書整備)	- 26 -
(情報システムの台帳整備)	- 26 -
第3節 機器等の購入	- 27 -
(機器等の購入に係る規定の整備)	- 27 -
(機器等の購入に係る規定の遵守)	- 27 -
第4節 ソフトウェア開発	- 27 -
(ソフトウェア開発に係る規定の整備)	- 27 -
(ソフトウェア開発に係る規定の遵守)	- 29 -
第5節 暗号と電子署名の標準手順	- 29 -
(暗号と電子署名に係る規定の整備)	- 29 -

(暗号と電子署名に係る規定の遵守)	- 30 -
第6節 研究所外の情報セキュリティ水準の低下を招く行為の防止	- 30 -
(措置についての規定の整備)	- 30 -
(規定の遵守)	- 30 -
第7節 ドメイン名の使用についての対策	- 30 -
(ドメイン名の使用についての規定の整備)	- 30 -
(ドメイン名の使用についての規定の遵守)	- 31 -
第8節 不正プログラム感染防止のための日常的实施事項	- 31 -
(不正プログラム対策に係る規定の整備)	- 31 -
(不正プログラム対策に係る規定の遵守)	- 31 -
第9節 情報セキュリティ対策のための機能	- 31 -
(主体認証機能の導入)	- 31 -
(識別コードの管理)	- 33 -
(主体認証情報の管理)	- 33 -
(アクセス制御機能の導入)	- 34 -
(適正なアクセス制御)	- 34 -
(権限管理機能の導入)	- 34 -
(識別コードと主体認証情報の付与管理)	- 34 -
(識別コードと主体認証情報における代替手段等の適用)	- 35 -
(証跡管理機能の導入)	- 35 -
(証跡の取得と保存)	- 36 -
(証跡管理に関する利用者への周知)	- 36 -
(保証のための機能の導入)	- 36 -
(暗号化機能及び電子署名機能の導入)	- 36 -
(暗号化及び電子署名に係る管理)	- 37 -
第10節 セキュリティホール対策	- 37 -
(情報システムの構築時の対策)	- 37 -
(情報システムの運用時の対策)	- 37 -
第11節 不正プログラム対策	- 38 -
(情報システムの構築時の対策)	- 38 -
(情報システムの運用時の対策)	- 38 -
第12節 サービス不能攻撃対策	- 39 -
(情報システムの構築時の対策)	- 39 -
第13節 踏み台対策	- 39 -
(情報システムの構築時の対策)	- 39 -
第14節 電子計算機及び通信回線装置を設置する安全区域	- 39 -

(立入り及び退出の管理)	- 39 -
(電子計算機及び通信回線装置のセキュリティ確保)	- 39 -
(安全区域内のセキュリティ管理)	- 39 -
第 1 5 節 電子計算機共通対策	- 40 -
(電子計算機の設置時の対策)	- 40 -
(電子計算機の運用時の対策)	- 40 -
(電子計算機の運用終了時)	- 40 -
第 1 6 節 端末についてのセキュリティ対策	- 40 -
(端末の設置時の対策)	- 40 -
(端末の運用時の対策)	- 41 -
第 1 7 節 サーバ装置の対策	- 41 -
(サーバ装置の設置時の対策)	- 41 -
(サーバ装置の運用時)	- 41 -
第 1 8 節 アプリケーションソフトウェア	- 42 -
(電子メールの導入時の対策)	- 42 -
(電子メールの運用時の対策)	- 42 -
(ウェブの導入時の対策)	- 42 -
(ウェブの運用時の対策)	- 42 -
第 1 9 節 ドメインネームシステム (DNS)	- 43 -
(DNS の導入時の対策)	- 43 -
(DNS の運用時の対策)	- 43 -
第 2 0 節 通信回線	- 43 -
(通信回線の構築時の対策)	- 43 -
(通信回線の運用時の対策)	- 44 -
(通信回線の運用終了時の対策)	- 44 -
(研究所内通信回線の対策)	- 45 -
(研究所内通信回線と研究所外通信回線との接続時)	- 45 -
(研究所外通信回線と接続している研究所内通信回線の運用時)	- 46 -
第 5 章 その他	- 46 -
(情報システムへの IPv6 技術の導入における対策)	- 46 -
(意図しない IPv6 通信の抑止と監視)	- 46 -

情報セキュリティポリシーの概念図

()内書きは該当条文。



平成22年度 独立行政法人 森林総合研究所 公開講演会+オープンラボ

イノベーションでリードする 木材需要の創出

— 国産材・木質バイオマス利用拡大戦略のための研究開発 —

森林総合研究所では「公開講演会+オープンラボ」を開催します。

公開講演会では、木材利用の課題、最新の研究成果、今後の展望をお話しします。

オープンラボでは、実用化を目指した技術開発につながる研究成果を紹介します。

平成22(2010)年

10月12日(火)

オープンラボ (10:00 ~ 17:00)

展示 (1階ギャラリー)

セミナー (6階会議室)

10月13日(水)

オープンラボ (9:00 ~ 15:45)

展示 (1階ギャラリー)

セミナー (6階会議室)

公開講演会 (13:00 ~ 17:10)

公開講演会 (10月13日午後, 7階ホール)

- 森林・林業再生プランにおける木材利用の課題
— 研究開発に期待すること —

刈上 和之 (林野庁林政部木材産業課長)

- 公共建築物の木造化

青井 秀樹 (構造利用研究領域)

- 木材の難燃化、木造建築物の高層化

原田 寿郎 (木材改質研究領域)

- シックハウス対策としての木質建材からの
揮発性有機化合物 (VOC) 放散特性の解明

井上 明生 (複合材料研究領域)

- リグニンのマテリアル利用による
木質バイオマス総合利用の推進

山田 竜彦 (バイオマス化学研究領域)

会場：木材会館

参加費：無料

事前申込不要

お問い合わせ先



独立行政法人 森林総合研究所 企画部 研究情報科 広報係

tel:029-829-8134 fax:029-873-0844

kouho@ffpri.affrc.go.jp <http://www.ffpri.affrc.go.jp/>



東京木材関係共済組合
木材会館

東京都江東区新木場1-18
TEL 03-5534-3111
<http://www.mokuzai-tonya.jp/>
<http://mokuzaikaikan/index.html>
東京メトロ有明駅
JR 東日本 京葉線
東京臨海高速鉄道りんかい線
「新木場」駅 徒歩3分

**平成22年度 独立行政法人森林総合研究所 公開講演会+オープンラボ
開催プログラム**

10月12日	オープンラボ・セミナー（6階会議室）	
10:00 ～ 10:40	日本の木質資源 ー供給量や生産コストの今後ー	四国支所 田内裕之
10:40 ～ 11:20	CO ₂ 冷媒ヒートポンプを応用した 低環境負荷型木材乾燥装置の開発	加工技術研究領域 齋藤周逸
11:20 ～ 12:00	超臨界二酸化炭素によるスギ材の高機能化	木材改質研究領域 松永正弘
12:00 ～ 13:00	休憩	
13:00 ～ 13:40	スギを用いた集成材の強度性能を向上させる	複合材料研究領域 宮武敦
13:40 ～ 14:20	厚物合板の床・壁等への利用	構造利用研究領域 杉本健一
14:20 ～ 15:00	木質系廃棄物を利用した軽量な屋上緑化法	複合材料研究領域 高麗秀昭
15:00 ～ 15:40	木質バイオマスからの新規成型材料の開発	木材改質研究領域 木口実（秦野恭典）
15:40 ～ 16:00	酵素加水分解でつくるセルロースナノファイ	きのこ・微生物研究領域 林徳子
16:00 ～ 16:20	樹木精油を利用した空気質の改善	バイオマス化学研究領域 大平辰朗
16:20 ～ 16:40	高性能木質ペレットの製造と利用	加工技術研究領域 吉田貴紘
16:40 ～ 17:00	木質バイオエタノールの製造技術の開発	バイオマス化学研究領域 真柄謙吾（野尻昌信）

10月13日		オープンラボ・セミナー (6階会議室)	
10:00 ~ 10:40	林業の低コスト化に役立つ林木育種	林木育種センター 藤澤義武	
10:40 ~ 11:20	木材の土木分野での利用	木材改質研究領域 桃原郁夫	
11:20 ~ 12:00	水源林造成事業等における木材利用	森林農地整備センター 森林業務部 山崎一 農用地業務部 清水修	

10月13日		公開講演会 プログラム (7階ホール)	
13:00 ~ 13:05	開会の辞		
13:05 ~ 13:15	理事長挨拶		
13:15 ~ 13:45	森林・林業再生プランにおける木材利用の課題 ー研究開発に期待することー	林野庁・木材産業課長 淵上和之	
13:45 ~ 13:55	質疑応答		
13:55 ~ 14:25	公共建築物の木造化	構造利用研究領域 青井秀樹	
14:25 ~ 14:35	質疑応答		
14:35 ~ 15:05	木材の難燃化、木造建築物の高層化	木材改質研究領域 原田寿郎	
15:05 ~ 15:15	質疑応答		
15:15 ~ 15:45	休憩		
15:45 ~ 16:15	シックハウス対策としての木質建材からの 揮発性有機化合物 (VOC) 放散特性の解明	複合材料研究領域 井上明生	
16:15 ~ 16:25	質疑応答		
16:25 ~ 16:55	リグニンのマテリアル利用による 木質バイオマス総合利用の推進	バイオマス化学研究領域 山田竜彦	
16:55 ~ 17:05	質疑応答		
17:05 ~ 17:10	閉会の辞		

10月12日 10:00~17:00		ポスター展示 (1階ギャラリー)	
}		「オープンラボ・セミナー」の各テーマについて展示する他、下記のものを展示します	
		今どきのシロアリ対策あれこれ	木材改質研究領域 大村和香子
		高耐久性材料	木材改質研究領域 片岡厚(桃原郁夫、原田寿郎)
		耐火集成材	木材改質研究領域 上川大輔
		リグニンを高分子材料として高度利用	バイオマス化学研究領域 久保智史(山田竜彦)
10月13日 9:00~15:45		バイオプロセスによるリグニンからの グリーン素材 (マテリアル素材) の生産と グリーンプラスチックの製造	きのこ・微生物研究領域 中村雅哉

会場：木材会館（東京都江東区新木場1-18）
<http://www.mokuzai-tonyajp/mokuzaikaikan/index.html>
 入場無料、事前申込不要

東京メトロ 有楽町線、JR東日本 京葉線
 東京臨海高速鉄道 りんかい線
 「新木場」駅 徒歩3分

2011国際森林年について

1. 国際森林年とは

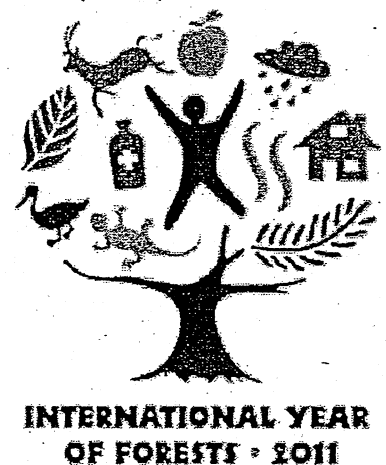
2006年の国連総会決議により、2011年は国際森林年とされている。国際森林年は世界中の森林の持続可能な経営、保全、持続可能な利用の重要性に対する認識を高めることを目的にするもので、各国に対し積極的な取組や国内委員会の設置が要請されている。なお、前回の国際森林年は1985年。

2. 今後の予定

- (1) 事務総長が第65回国連総会（2010年9月開催）において国際森林年の準備状況を報告。
- (2) 2010年12月に石川県で行われる国際生物多様性年クロージングイベントの際、国際森林年とのブリッジングセレモニーを実施。
- (3) UNFF9会合（国連本部、2011年1月～2月開催）の際、国際森林年を公式に立ち上げ。
- (4) 第66回国連総会（2011年9月開催）において、一日のみの特別ハイレベル・イベントを開催。

(参考) 国際森林年のロゴマークについて

- (1) 2010年7月20日、国連森林フォーラム（UNFF）事務局がロゴマークを発表。
- (2) ロゴマークは、「Forests for People（人々のための森林）」というテーマを伝えるもので、世界の森林の持続可能な経営、保全等における人間の中心的役割をたたえるもの。また、人々の居住環境や食料・水等の供給、生物多様性保全、気候変動緩和といった森林の多面的機能が人類の生存に欠かせないものであることを訴えるデザイン。



主要行事(2010年9月3日～2010年10月7日)

月 日	行 事 内 容	出 席 者
9月3日(金)	第5回理事会	理事長、各理事、各監事
6日(月)	庁議	理事長
	事業運営会議	理事長、企画・総務担当理事、森林農地整備センター所長、森林業務担当理事、滑志田監事
7日(火) ～9日(木)	中堅研究職員研修	理事長(7・9日)、企画・総務担当理事(7・9日)、研究担当理事(7・9日)、林木育種センター所長(9日)
8日(水)	農林水産祭中央審査委員会林産分科会現地調査	理事長
10日(金)	森林管理局長等会議	理事長
	プラナリア検討会	研究担当理事
15日(水)	消費科学連合会来訪	理事長、研究担当理事
	林業研究開発推進四国地区ブロック会議	企画・総務担当理事
17日(金)	農林水産祭中央審査委員会林産分科会	理事長
20日(月) ～22日(水)	カンボジア森林局との科学技術協力に関する覚書(MOU)調印式(カンボジア王国プノンペン市)	理事長
24日(金)	日本森林学会理事会	研究担当理事
27日(月)	江崎玲於奈賞並びにつくば賞授賞式(財団法人 茨城県科学技術振興財団)	研究担当理事
28日(火)	林業研究開発推進近畿・中国地区ブロック会議	研究担当理事
29日(水)	中華人民共和国建国六十一周年祝賀レセプション	理事長
	外来生物法施行状況評価検討会	研究担当理事
10月1日(金)	任期付研究員採用入所式	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事
	林試友の会	理事長(総会含む)、企画・総務担当理事、研究担当理事
2日(土) ～3日(日)	第34回全国育樹祭	研究担当理事
3日(日) ～4日(月)	STSフォーラム ANNUAL MEETING 2010	理事長
4日(月)	樹木医研修開講式	研究担当理事
5日(火)	森林・木材・環境アカデミー理事会	理事長
	森林・木材・環境アカデミー、財団法人林学会 シンポジウム「わが国の木材自給を考える」	理事長
5日(火) ～7日(木)	新規採用者研修	理事長(7日)、企画・総務担当理事(5・7日)、研究担当理事(5日)
6日(水)	日本学術会議 環境学委員会	理事長
	次世代育種促進研究会	林木育種センター所長
7日(木)	理事長懇談会	理事長
	男女共同参画学協会連絡会シンポジウム出席	研究担当理事